

2022年11月11日

3社の「SDGs宣言」策定を支援

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先3社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) 株式会社 翔和
- (2) 株式会社 サンヴィレッジ
- (3) 株式会社 秀建

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	株式会社 翔和	株式会社 サンヴィレッジ
代 表 者	代表取締役 田中 清文	代表取締役 三村 挑嗣
所 在 地	埼玉県越谷市川柳町 2-544	栃木県足利市寺岡町 351
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・プレス加工、機械加工、製缶、板金業 (パケットコンベア、フライトコンベア及び関連部品等) ・舞台、スタジオ用照明器具製造業 ・コンクリート二次製品用型枠及び部品製造業 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光設置工事、販売、保守、管理業 ・太陽光発電事業 ・蓄電池、住宅用太陽光システム工事業 ・土木建築、電気工事業 ・小売電気事業
設 立	2000年5月18日	2014年2月14日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けられる環境と地域社会に優しい会社を目指す ・「ダイバーシティ経営」の実践と推進 ・「生産性向上」と「ワークライフバランス」の両輪経営を体現する ・持続可能なものづくりの生産体制を推進する ・同業者や協力会社とのパートナーシップ構築を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー事業の促進 ・環境にやさしいものづくり ・「ダイバーシティ経営」の実践と推進 ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す

企 業 名	株式会社 秀建
代 表 者	代表取締役 北井 秀樹
所 在 地	埼玉県久喜市菖蒲町下栢間 93-43
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・建物耐火被覆工事 ・ALCパネル施工工事
設 立	1990年6月5日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全なまちづくりに貢献していく ・温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指す ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す ・自社および事業の環境負荷を軽減させる ・秀建グループや同業者との連携を高める



2022年9月30日

株式会社翔和 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 田中 清文

SDGsの達成に向けた取り組み

住み続けられる環境と地域社会に優しい会社を目指す

- ・生産現場の機器入れ替えや事務所での節電により、会社全体の単位
売上当たりの電気使用量を減らしていきます。

【指標】

2021年度 売上百万円当たり 336kWh ⇒ 2030年度 319kWh (△5%以上)

- ・災害用に食料等の備蓄を行い、災害時には周辺住民にも配布します。

【指標】

2021年度 災害用備蓄 なし ⇒ 2030年度 災害用備蓄 30人×6日分



「ダイバーシティ経営」の実践と推進

- ・外国人従業員を技術者として育成していきます。
(毎週土曜日に日本語教室開催、マナーや生活習慣等の教育も実施)
- ・従業員教育や能力向上のため、研修等の延べ受講人数を増加させます。

【指標】

2021年度 1年間の延べ受講人数 従業員の10% ⇒ 2030年度 従業員の30%以上



「生産性向上」と「ワークライフバランス」の両輪経営を体現する

- ・従業員の個人の時間を大切にするため、有休消化率の向上を目指します。

【指標】

2021年度 全従業員の有休消化率 69% ⇒ 2030年度 70%以上維持

- ・社内の情報化投資や職場環境の改善を続け、若者が働きたくなる会社を
目指します。



持続可能なものづくりの生産体制を推進する

- ・当社の主力商品であるポケットコンベアの耐久性を高めるため、メンテナンス
重視の構造に設計を見直していきます。
- ・事業系ごみの排出量の削減努力を続け、会社全体の単位売上げ当たりで
ごみの処分費用を減らしていきます。

【指標】

2021年度 売上百万円当たり 804円 ⇒ 2030年度 763円 (削減率△5%以上)



同業者や協力会社とのパートナーシップ構築を推進する

- コンベアメーカーや協力工場と連携し、食品業界の生産性向上に貢献して
いきます。

